

令和 5 年 5 月 23 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H03444

研究課題名(和文) 希少癌における肉腫のマルチオミクス解析による発癌機序と治療抵抗性獲得機構の解明

研究課題名(英文) Multi-omics analysis of the mechanisms of tumorigenesis and acquired treatment resistance in rare cancer, sarcoma

研究代表者

小田 義直(Oda, Yoshinao)

九州大学・医学研究院・教授

研究者番号：70291515

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文)：悪性骨巨細胞腫(MGCTB)、骨原発未分化多形肉腫(UPS)、悪性抹消神経鞘腫(MPNST)、軟部平滑筋肉腫(SLMS)、脱分化方脂肪肉腫(DDLPS)、粘液脂肪肉腫(MLS)、骨肉腫(OS)及びSMARCB1欠失軟部腫瘍に対し解析を行った。MGCTBでは、悪性転化時のエピゲノム変化および特徴的な組織形態像を明らかにした。UPS、LMS、OSにおいては、腫瘍免疫を主体とした解析を行い、免疫チェックポイント分子の発現割合やその発現制御の分子機構、予後指標を明らかにした。SMARCB1/INI1 蛋白欠失軟部腫瘍を解析し、組織学的、生物学的に異なる新しい独立した疾患概念であることを示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究において、未分化多形肉腫、平滑筋肉腫、骨肉腫については、腫瘍微小環境の理解がすすみ、PD-L1、IDO1、TIGITなどの免疫チェックポイント関連分子を中心とした治療標的と予後予測因子が明らかとなった。骨巨細胞腫における解析では、悪性転化時のエピゲノム異常について明らかにし、特徴的な組織形態像を示した。クロマチンリモデリング因子異常に着目した研究では、従来の疾患概念にあてはまらない腫瘍として Myxoepithelioid tumor with chordoid features を新たな疾患概念として定義した。以上のように、本研究により骨軟部腫瘍における治療標的・診断指標の理解が進んだ。

研究成果の概要(英文)：We analyzed malignant giant cell tumor of bone (MGCTB), primary undifferentiated pleomorphic sarcoma of bone (UPS), malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST), soft tissue leiomyosarcoma (SLMS), dedifferentiated liposarcoma (DDLPS), myxoliposarcoma (MLS), osteosarcoma (OS) and soft tissue tumor with SMARCB1 deletion. In MGCTB, epigenomic alterations and characteristic histomorphology were identified at the time of malignant transformation; in UPS, LMS, and OS, tumor immunity was the main focus of analysis, and the expression rate of immune checkpoint molecules, molecular mechanisms of their expression regulation, and prognostic indicators were identified. SMARCB1/INI1-deficient soft-tissue tumors were analyzed and shown to be a novel disease entity.

研究分野：骨軟部腫瘍

キーワード：希少癌 骨軟部腫瘍 マルチオミクス エピジェネティクス エピゲノム 悪性骨巨細胞腫 ヒストン修飾 ヒストンH3

## 1. 研究開始当初の背景

骨軟部肉腫はその種類が極めて多く、加えて形態学的な複雑さのため、病理学的に診断あるいは分類困難となりやすいことが全世界的に問題となっている。我が国でも厚生労働省「希少がん医療・支援のありかたに関する検討会報告書」において重要課題として認識されている現状である。骨軟部肉腫の患者が標準的な医療を受けにくくなっている現状を打開するため、「希少癌対策ワーキンググループ」を通し国策を挙げて医療制度側から対応を目指している状態である。つまり現在、社会全体として希少癌の診断学および分類学のニーズが高まっている状態であり、今後はテーラーメイド医療までカバーされる精緻な腫瘍分類が必要とされると想定される。

骨軟部腫瘍診断の実際として、近年は、Ewing 肉腫の EWSR1-FLI1 融合遺伝子や滑膜肉腫の SS18-SSX 融合遺伝子に代表される特異的遺伝子転座、GIST の KIT/PDGFRα 遺伝子変異のように、腫瘍特異的な遺伝子異常が診断根拠および治療標的として注目され、医療現場において実際に利用されている。当教室では、これまでに多数の軟部肉腫において腫瘍特異的な遺伝子異常の病理診断および予後予測において果たす意義を解析し、それらの治療標的としての可能性に言及してきた。一方、同一の融合遺伝子を有する腫瘍であっても生物学的に特徴が異なるものが存在することがこれまでの国内外の研究により明らかにされてきた。さらに近年、融合遺伝子を有しない骨軟部腫瘍にも、異なる 2 群間に次世代シーケンサーによって遺伝子レベルでの違いを見出せないものが報告されるようになった。すなわち、核酸配列による情報だけが腫瘍の生物学的特徴を規定するわけではないことがこれまでの知見により示されたと言える。また、悪性末梢神経鞘腫や骨巨細胞腫のようにヒストンメチル化やヒストン遺伝子に異常を有する腫瘍が存在することも明らかになり、エピジェネティクスが骨軟部腫瘍の悪性度に寄与することが示唆されるようになった。

## 2. 研究の目的

骨軟部腫瘍のゲノム・トランスクリプトーム・エピゲノム異常を網羅的に統合解析し、従来のゲノム解析のみでは分からなかった既存の枠組みを超えた腫瘍分類を試み、腫瘍の生物学的特徴への影響を明らかにすることである。また、臨床検体を用い腫瘍病態を動的クロマチン構造レベルで解明し、骨軟部腫瘍の発癌機序と治療抵抗性獲得機構を解明し、診断マーカー・新規創薬標的の探索を目指す。

## 3. 研究の方法

### 1) “Myxoepithelioid tumour with chordoid features”(METC)に関する研究

160 例の SMARCB1/INI1 蛋白欠失軟部腫瘍を解析し、既知の腫瘍に分類し難く、かつ臨床病理学的に類似した特徴を有する腫瘍の抽出を試みた。免疫染色および網羅的遺伝子発現解析を行い既存の SMARCB1 欠失腫瘍と比較解析した。

### 2) 骨悪性巨細胞腫 (MGCTB) に関する研究

骨巨細胞腫 (GCTB) の骨悪性巨細胞腫 (MGCTB) への悪性転化機構を明らかとすることを目的とした。免疫組織化学、蛍光 in situ ハイブリダイゼーション (FISH)、次世代シーケンサー (NGS) に基づいて、MGCTB の臨床病理学および分子的特徴を解析した。

### 3) 悪性末梢神経鞘腫瘍 (MPNST) に関する研究

悪性末梢神経鞘腫瘍 (MPNST) は、非常に侵襲性の高い末梢神経鞘由来の肉腫であり、組織学的所見のスペクトルが広く、特異的な免疫組織化学マーカーがないため、診断が難しい腫瘍の 1 つである。近年、PRC2 機能障害に起因する H3K27me3 および H3K27me2 の発現消失が MPNST の診断マーカーとして有用であることが報告されているが、その臨床病理学的意義についてはコンセンサスが得られていない。そこで、H3K27 メチル化消失と各種パラメータとの関連を検討し、その臨床病理学的意義を明らかにした。84 例の MPNST の臨床病理学的特徴および免疫組織化学的特徴を分析した。

### 4) 骨軟部肉腫の腫瘍微小環境に関する研究

治療標的となりうる免疫チェックポイント分子の発現を含む微小環境を解析した。骨肉腫・平滑筋肉腫・未分化多形肉腫を対象とし解析を行った。網羅的遺伝子変異解析、遺伝子発現解析と免疫チェックポイント分子および免疫細胞の浸潤とを統合解析し臨床病理学的因子との関係性を明らかにした。

## 4. 研究成果

### 1) “Myxoepithelioid tumour with chordoid features”(METC)に関する研究

14 症例の条件に該当する腫瘍が抽出された。腫瘍は外陰部(n=13)および骨盤腔内(n=1)に発生していた。組織学的には粘液基質を伴って、比較的 大きさの揃った上皮様～紡錘形細胞で構成されていた。全症例で brachyury、EMA、PgR が陽性、ER は 12/14 例が陽性だった。nCounter を用いた網羅的遺伝子発現解析により SMARCB1 欠失腫瘍で組織形態が類似する Proximal epithelioid sarcoma と比較解析したところ、PCA で異なる遺伝子発現パターンを示すグループに分類された。以上のことから、METC は既知の SMARCB1 欠失腫瘍とは組織学的、生物学的に異なる新しい独立した疾患概念であることを示した。

### 2) 骨悪性巨細胞腫 (MGCTB) に関する研究

MGCTB9 例中 7 例 (78%) が H3.3 G34W を免疫組織化学的に陽性であった。2 例 (22%) では、GCTB 成分は局所的またはびまん性に H3.3 G34W 陽性であったが、その悪性成分は完全に H3.3 G34W 陰性であり、これは FISH による H3F3A のヘテロ接合性喪失と関連していた。4 つの MGCTB の NGS では、TP53 (n = 3)、EZH2 (n = 1) および他のいくつかの遺伝子に病原性変異が認められた。9 つの MGCTB の免疫組織化学的解析により、p53 の核内発現 (n = 5) と H3K27me3 発現の消失 (n = 3) が確認され、これらは相互に排他的であることが示された。また、多形細胞または上皮細胞優勢の MGCTB5 例中 4 例 (80%) が p53 陽性、紡錘細胞優勢の MGCTB4 例中 3 例 (75%) が H3K27me3 陰性であった。この結果は、p53 の変化と H3K27me3 欠損に見られるヒストンメチル化の機能不全が GCTB の悪性化に重要な役割を果たし、MGCTB における表現型と遺伝子型の相関に寄与している可能性を示唆した。組織学的、免疫組織化学的、分子生物学的な情報を組み合わせることで、困難な症例の診断に役立つと思われた。

### 3) 悪性末梢神経鞘腫瘍(MPNST)に関する研究

H3K27me3 および H3K27me2 の完全な喪失は、それぞれ 37 例 (44%) および 29 例 (35%) で観察された。H3K27me3 および H3K27me2 の欠損は、筋原性マーカー陽性と有意に相関していた。一方神経原性マーカー (S-100、SOX10) の発現と H3K27me3、H3K27me2 発現との間には有意な相関があった。多変量解析では、局所再発、遠隔転移、FNCLCC グレードの高さ、SOX10 発現の消失が、全生存の独立した予後因子となった。一方、横紋筋肉腫 non-alveolar subtype では、26 例すべてにおいて、H3K27me3 および H3K27me2 の発現が保持されていた。結論として、H3K27me3 および H3K27me2 免疫陰性は、MPNST の診断に有用であるが確定的ではないことが示唆された。H3K27 メチル化の完全消失は、MPNST における神経分化から骨格筋分化への分化転換に寄与していることが示唆される。

### 4) 骨軟部肉腫の腫瘍微小環境に関する研究

未分化多形肉腫では、37%に PD-L1 が発現し、10%で TPS 50 を超える強発現を認めた。IDO1 発現は、48%に認めた。PD-L1 発現 (1%) は CD8 および CD3 陽性リンパ球の浸潤と有意な関係を示したが、強い PD-L1 発現 (50%) は腫瘍浸潤リンパ球と有意な関係を示さなかった。IDO-1 の発現も CD8、CD4、CD3 陽性リンパ球と関連していた。生存率解析では、強い PD-L1 発現 (50%) は有意な予後不良因子であり、IDO-1 発現 (1%) は予後良好因子であった。さらに、PD-L1 の細胞膜発現に關与する膜タンパク CMTM6 について解析を行った。その結果、CMTM6 遺伝子コピー数増加が CMTM6 の mRNA 高発現、さらに PD-L1 の高発現と関連していることを明らかとした。CMTM6 の発現と、PD-L1 高発現 (50%) と正の相関があった。CMTM6 のコピー数増加は CMTM6 発現を増加させた。CMTM6 の発現が高い UPS の患者は、全生存期間の予後が悪化した。マクロファージを対象とした研究では、SIRP 陽性マクロファージの浸潤は PD-L1 陽性症例において陰性症例よりも有意に多かった。免疫チェックポイント分子 TIGIT が UPS において異常発現していることが明らかとなり、TIGIT の発現は CD155 陽性 (p = 0.0144) および CD8 陽性 (p = 0.0487) 細胞浸潤と負の相関があった。SIRP 陽性マクロファージの浸潤が多いことは、予後不良因子であり、転移増加とも関連していた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計65件（うち査読付論文 62件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 Toda Yu, Yamamoto Hidetaka, Iwasaki Takeshi, Ishihara Shin, Ito Yoshihiro, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Kinoshita Izumi, Kiyozawa Daisuke, Yamada Yuichi, Kohashi Kenichi, Kimura Atsushi, Fujiwara Toshifumi, Setsu Nokitaka, Endo Makoto, Matsumoto Yoshihiro, Nakashima Yasuharu, Mawatari Masaaki, Oda Yoshinao	4. 巻 241
2. 論文標題 Expression of SATB2, RUNX2, and SOX9 and possible osteoblastic and chondroblastic differentiation in chondroblastoma	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 154239 - 154239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2022.154239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasutake Nobuko, Iwasaki Takeshi, Yamamoto Hidetaka, Sonoda Kenzo, Kodama Keisuke, Okugawa Kaoru, Asanoma Kazuo, Yahata Hideaki, Kato Kiyoko, Oda Yoshinao	4. 巻 235
2. 論文標題 Cyclin-dependent kinase 8 is an independent prognosticator in uterine leiomyosarcoma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 153920 - 153920
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2022.153920	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Yuichi, Kohashi Kenichi, Kinoshita Izumi, Yamamoto Hidetaka, Iwasaki Takeshi, Yoshimoto Masato, Ishihara Shin, Toda Yu, Ito Yoshihiro, Kuma Yuki, Hashisako Mikiko, Kiyozawa Daisuke, Furue Masutaka, Nakashima Yasuharu, Suzuki Satoshi, Iwaki Toru, Oda Yoshinao	4. 巻 75
2. 論文標題 Histological background of dedifferentiated solitary fibrous tumour	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Pathology	6. 最初と最後の頁 397 - 403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jclinpath-2020-207311	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara Shin, Yamamoto Hidetaka, Iwasaki Takeshi, Toda Yu, Yamamoto Takeo, Yoshimoto Masato, Ito Yoshihiro, Susuki Yousuke, Kawaguchi Kengo, Kinoshita Izumi, Yamada Yuichi, Kohashi Kenichi, Fujiwara Toshifumi, Setsu Nokitaka, Endo Makoto, Matsumoto Yoshihiro, Kakuda Yuko, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 35
2. 論文標題 Histological and immunohistochemical features and genetic alterations in the malignant progression of giant cell tumor of bone: a possible association with TP53 mutation and loss of H3K27 trimethylation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Modern Pathology	6. 最初と最後の頁 640 ~ 648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41379-021-00972-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Yuichi, Kinoshita Izumi, Miyazaki Yoshiko, Tateishi Yuki, Kuboyama Yusuke, Iwasaki Takeshi, Kohashi Kenichi, Yamamoto Hidetaka, Ishihara Shin, Toda Yu, Ito Yoshihiro, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Hashisako Mikiko, Kiyozawa Daisuke, Mori Taro, Yamamoto Takeo, Mori Hiroki, Shiose Akira, Oda Yoshinao	4. 巻 480
2. 論文標題 Myxoid type and non-myxoid type of intimal sarcoma in large vessels and heart: review of histological and genetic profiles of 20 cases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Virchows Archiv	6. 最初と最後の頁 919 ~ 925
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-022-03293-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara Shin, Iwasaki Takeshi, Kohashi Kenichi, Yamada Yuichi, Toda Yu, Endo Makoto, Matsumoto Yoshihiro, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 147
2. 論文標題 The association between the expression of PD-L1 and CMTM6 in undifferentiated pleomorphic sarcoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cancer Research and Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 2003 ~ 2011
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-021-03616-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita Izumi, Kohashi Kenichi, Yamamoto Hidetaka, Yamada Yuichi, Inoue Takeshi, Higaki Koichi, Teramoto Norihiro, Oshiro Yumi, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 79
2. 論文標題 Myxoepithelioid tumour with chordoid features: a clinicopathological, immunohistochemical and genetic study of 14 cases of SMARCB1/INI1 deficient soft tissue neoplasm	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Histopathology	6. 最初と最後の頁 629 ~ 641
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.14393	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Yoshihiro, Kohashi Kenichi, Endo Makoto, Yoshimoto Masato, Ishihara Shin, Toda Yu, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Furukawa Hiroshi, Tateishi Yuki, Yamada Yuichi, Kinoshita Izumi, Mori Taro, Yamamoto Hidetaka, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 479
2. 論文標題 Clinicopathological and prognostic significance of H3K27 methylation status in malignant peripheral nerve sheath tumor: correlation with skeletal muscle differentiation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virchows Archiv	6. 最初と最後の頁 1233 ~ 1244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-021-03189-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori Taro, Yamada Yuichi, Kinoshita Izumi, Kohashi Kenichi, Yamamoto Hidetaka, Ito Yoshihiro, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 80
2. 論文標題 Clinicopathological and histopathological review of dedifferentiated liposarcoma: a comprehensive study of 123 primary tumours	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Histopathology	6. 最初と最後の頁 538 ~ 557
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.14588	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara Shin, Yamamoto Hidetaka, Iwasaki Takeshi, Toda Yu, Yamamoto Takeo, Yoshimoto Masato, Ito Yoshihiro, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Kinoshita Izumi, Yamada Yuichi, Kohashi Kenichi, Fujiwara Toshifumi, Setsu Nokitaka, Endo Makoto, Matsumoto Yoshihiro, Kakuda Yuko, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 -
2. 論文標題 Histological and immunohistochemical features and genetic alterations in the malignant progression of giant cell tumor of bone: a possible association with TP53 mutation and loss of H3K27 trimethylation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Modern Pathology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41379-021-00972-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Y, Kinoshita I, Miyazaki Y, Tateishi Y, Kuboyama Y, Iwasaki T, Kohashi K, Yamamoto H, Ishihara S, Toda Y, Ito Y, Hashisako M, Kiyozawa D, Mori T, Yamamoto T, Suzuki K, Nishimura H, Bando K, Masumoto J, Fukushima M, Motoshita J, Mori H, Shiose A, Oda Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Myxoid type and non-myxoid type of intimal sarcoma in large vessels and heart: review of histological and genetic profiles of 20 cases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Virchows Archiv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-022-03293-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara Shin, Yamada Yuichi, Iwasaki Takeshi, Yoshimoto Masato, Toda Yu, Kohashi Kenichi, Yamamoto Hidetaka, Matsumoto Yoshihiro, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 45
2. 論文標題 PD-L1 and IDO1 expression in undifferentiated pleomorphic sarcoma: The associations with tumor infiltrating lymphocytes, dMMR and HLA class I	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Oncology Reports	6. 最初と最後の頁 379 ~ 389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/or.2020.7837	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Yoshihiro, Kohashi Kenichi, Endo Makoto, Yoshimoto Masato, Ishihara Shin, Toda Yu, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Furukawa Hiroshi, Tateishi Yuki, Yamada Yuichi, Kinoshita Izumi, Mori Taro, Yamamoto Hidetaka, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 479
2. 論文標題 Clinicopathological and prognostic significance of H3K27 methylation status in malignant peripheral nerve sheath tumor: correlation with skeletal muscle differentiation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virchows Archiv	6. 最初と最後の頁 1233 ~ 1244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-021-03189-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki Takeshi, Kohashi Kenichi, Toda Yu, Ishihara Shin, Yamada Yuichi, Oda Yoshinao	4. 巻 147
2. 論文標題 Association of PD-L1 and IDO1 expression with JAK-STAT pathway activation in soft-tissue leiomyosarcoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cancer Research and Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1451 ~ 1463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-020-03390-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohashi Kenichi, Yamamoto Hidetaka, Yamada Yuichi, Kinoshita Izumi, Oda Yoshinao	4. 巻 112
2. 論文標題 Brachyury expression in intracranial SMARCB1-deficient tumors: important points for distinguishing poorly differentiated chordoma from atypical teratoid/rhabdoid tumor	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Human Pathology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2021.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibui Yuichi, Kohashi Kenichi, Tamaki Akihiko, Kinoshita Izumi, Yamada Yuichi, Yamamoto Hidetaka, Taguchi Tomoaki, Oda Yoshinao	4. 巻 147
2. 論文標題 The forkhead box M1 (FOXM1) expression and antitumor effect of FOXM1 inhibition in malignant rhabdoid tumor	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cancer Research and Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1499 ~ 1518
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-020-03438-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toda Y, Kohashi Kenichi, Yamamoto H, Ishihara S, Ito Y, Susuki Y, Kawaguchi K, Kiyozawa D, Takamatsu D, Kinoshita I, Yamada Y, Maehara J, Kimura A, Tamiya S, Taguchi K, Matsunobu T, Matsumoto Y, Nakashima Y, Mawatari M, Oda Y	4. 巻 11
2. 論文標題 Tumor microenvironment in giant cell tumor of bone: evaluation of PD-L1 expression and SIRP infiltration after denosumab treatment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-94022-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toda Yu, Yamada Yuichi, Kohashi Kenichi, Ishihara Shin, Ito Yoshihiro, Susuki Yosuke, Kawaguchi Kengo, Kinoshita Izumi, Kiyozawa Daisuke, Mori Taro, Kuboyama Yusuke, Tateishi Yuki, Yamamoto Hidetaka, Fujiwara Toshifumi, Setsu Nokitaka, Endo Makoto, Matsumoto Yoshihiro, Nakashima Yasuharu, Mawatari Masaaki, Oda Yoshinao	4. 巻 228
2. 論文標題 Prognostic implication of desmoplastic stroma in synovial sarcoma: A histological review	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 153668 ~ 153668
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2021.153668	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Y, Kohashi K, Kinoshita I, Yamamoto H, Iwasaki T et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Histological background of dedifferentiated solitary fibrous tumour	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Pathology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jclinpath-2020-207311	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田義直	4. 巻 95
2. 論文標題 骨・軟部腫瘍病理診断のポイント	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本整形外科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 848-856
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸田雄、小田義直	4. 巻 39
2. 論文標題 治療方針を変える病理所見 診療ガイドラインと治療戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 病理と臨床	6. 最初と最後の頁 169-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara S, Yamada Y, Iwasaki T, Yoshimoto M, Toda Y, Kohashi K, Yamamoto H, Matsumoto Y, Nakashima Y, Oda Y.	4. 巻 45
2. 論文標題 PD-L1 and IDO-1 expression in undifferentiated pleomorphic sarcoma: The associations with tumor infiltrating lymphocytes, dMMR and HLA class I.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Oncol Rep.	6. 最初と最後の頁 379 - 389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/or.2020.7837.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka S, Hirata M, Ikegami M, Ueno T, Kojima S, Sakai T, Ito K, Naka N, Ogura K, Kawai A, Iwata S, Okuma T, Yonemoto T, Kobayashi H, Suehara Y, Hiraga H, Kawamoto T, Motoi T, Oda Y, Matsubara D, Matsuda K, Nishida Y, Mano H.	4. 巻 145
2. 論文標題 Comprehensive molecular and clinicopathological profiling of desmoid tumours.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Eur J Cancer.	6. 最初と最後の頁 109-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejca.2020.12.001.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita K, Kohashi K, Yamada Y, Akatsuka S, Ikuta K, Nishida Y, Toyokuni S, Oda Y.	4. 巻 60
2. 論文標題 Prognostic significance of the MDM2/HMGA2 ratio and histological tumor grade in dedifferentiated liposarcoma.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genes Chromosomes Cancer.	6. 最初と最後の頁 26-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gcc.22899.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita I, Yamada Y, Kohashi K, Yamamoto H, Iwasaki T, Ishihara S, Toda YU, Ito Y, Susuki Y, Kawaguchi K, Ichiki T, Sato Y, Furue M, Nakashima Y, Oda Y.	4. 巻 40
2. 論文標題 Frequent MN1 gene mutations in malignant peripheral nerve sheath tumor.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Anticancer Res.	6. 最初と最後の頁 6221-6228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/anticancerres.14642.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toda Y, Kohashi K, Yamada Y, Yoshimoto M, Ishihara S, Ito Y, Iwasaki T, Yamamoto H, Matsumoto Y, Nakashima Y, Mawatari M, Oda Y.	4. 巻 146
2. 論文標題 PD-L1 and IDO1 expression and tumor-infiltrating lymphocytes in osteosarcoma patients: comparative study of primary and metastatic lesions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Cancer Res Clin Oncol.	6. 最初と最後の頁 2607-2620
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-020-03242-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto H, Nozaki Y, Kohashi K, Kinoshita I, Oda Y.	4. 巻 76
2. 論文標題 Diagnostic utility of pan-Trk immunohistochemistry for inflammatory myofibroblastic tumors.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Histopathology.	6. 最初と最後の頁 774-778
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.14010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimoto Masato, Yamada Yuichi, Ishihara Shin, Kohashi Kenichi, Toda Yu, Ito Yoshihiro, Susuki Yosuke, Kinoshita Izumi, Yamamoto Hidetaka, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 216
2. 論文標題 Retroperitoneal Myxofibrosarcoma: A Controversial Entity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 152969 ~ 152969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2020.152969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sonoda K, Nogami M, Kodama K, Oda Y, Kato K.	4. 巻 41
2. 論文標題 Re-evaluation of preoperative endometrial smears for the cytodiagnosis of uterine leiomyosarcoma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Eur J Gynaecol Oncol.	6. 最初と最後の頁 167-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yahiro K, Matsumoto Y, Yamada H, Endo M, Setsu N, Fujiwara T, Nakagawa M, Kimura M, Shimada E, Okada S, Oda Y, Nakashima Y.	4. 巻 69
2. 論文標題 Activation of TLR4 signaling inhibits progression of osteosarcoma by stimulating CD8-positive cytotoxic lymphocytes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Immunother.	6. 最初と最後の頁 745-758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00262-020-02508-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zou Y, Turashvili G, Soslow RA, Park KJ, Croce S, McCluggage WG, Stewart CJR, Oda Y, Oliva E, Young RH, Da Cruz Paula A, Dessources K, Ashley CW, Hensley ML, Yip S, Weigelt B, Benayed R, Antonescu CR, Lee CH, Chiang S.	4. 巻 33
2. 論文標題 High-grade transformation of low-grade endometrial stromal sarcomas lacking YWHAE and BCOR genetic abnormalities.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mod Pathol.	6. 最初と最後の頁 1861-1870
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41379-020-0535-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hashizume N, Aiko T, Fukahori S, Ishii S, Saikusa N, Koga Y, Higashidate N, Sakamoto S, Tsuruhisa S, Nakahara H, Muta H, Miyoshi H, Naito Y, Yamamoto H, Oda Y, Tanaka Y, Yagi M.	4. 巻 6
2. 論文標題 Benign mesenteric lipomatous tumor in a child: a case report and literature review.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Surg Case Rep.	6. 最初と最後の頁 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40792-020-01020-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oyama Noriko, Kojima-Ishii Kanako, Toda Naoko, Matsuo Terumichi, Tocan Vlad, Ohkubo Kazuhiro, Oba Utako, Koga Yuhki, Setsu Nokitaka, Yamada Yuichi, Kohashi Kenichi, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao, Ihara Kenji, Ohga Shouichi	4. 巻 29
2. 論文標題 Malignant transformation of phosphaturic mesenchymal tumor: a case report and literature review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Pediatric Endocrinology	6. 最初と最後の頁 69 ~ 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1297/cpe.29.69	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toya Masakazu, Yamada Yuichi, Yokoyama Ryohei, Taguchi Kenichi, Nabeshima Kazuki, Isayama Teruto, Oda Yoshinao	4. 巻 216
2. 論文標題 Dedifferentiated low-grade central osteosarcoma with extensive cystic change initially treated as a simple bone cyst	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 152832 ~ 152832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2020.152832	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimoto M, Yamada Y, Ishihara S, Kohashi K, Toda Y, Ito Y, Susuki Y, Kinoshita I, Yamamoto H, Nakashima Y, Oda Y.	4. 巻 なし
2. 論文標題 Retroperitoneal Myxofibrosarcoma: A Controversial Entity.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathol Res Pract	6. 最初と最後の頁 152969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2020.152969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto H, Ishihara S, Toda Y, Oda Y.	4. 巻 53
2. 論文標題 Histone H3.3 mutation in giant cell tumor of bone: an update in pathology.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Med Mol Morphol	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00795-019-00238-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toya Masakazu, Yamada Yuichi, Yokoyama Ryohei, Taguchi Kenichi, Nabeshima Kazuki, Isayama Teruto, Oda Yoshinao	4. 巻 216
2. 論文標題 Dedifferentiated low-grade central osteosarcoma with extensive cystic change initially treated as a simple bone cyst	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathology - Research and Practice	6. 最初と最後の頁 152832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2020.152832	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirata Makoto, Asano Naofumi, Katayama Kotoe, et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Integrated exome and RNA sequencing of dedifferentiated liposarcoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 5683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13286-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Y, Kohashi K, Kinoshita I, Yamamoto H, Iwasaki T, Yoshimoto M, Ishihara S, Toda Y, Itou Y, Koga Y, Hashisako M, Nozaki Y, Kiyozawa D, Kitahara D, Inoue T, Mukai M, Honda Y, Toyokawa G, Tsuchihashi K, Matsushita Y, Fushimi F, Taguchi K, Tamiya S, Oshiro Y, Furue M, Nakashima Y, Suzuki S, Iwaki T, Oda Y.	4. 巻 475
2. 論文標題 Clinicopathological review of solitary fibrous tumors: dedifferentiation is a major cause of patient death.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virchows Arch	6. 最初と最後の頁 467-477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-019-02622-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Basturk Olca, Weigelt Britta, Adsay Volkan, et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Sclerosing Epithelioid Mesenchymal Neoplasm of the Pancreas - A Proposed New Entity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Modern Pathology	6. 最初と最後の頁 456 ~ 467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41379-019-0334-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Yusuke, Hirata Makoto, Katayama Kotoe, et al.	4. 巻 145
2. 論文標題 Massively parallel sequencing of tenosynovial giant cell tumors reveals novel CSF1 fusion transcripts and novel somatic CBL mutations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 3276 ~ 3284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.32421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oyama N, Kojima-Ishii K, Toda N, Matsuo T et al.	4. 巻 29
2. 論文標題 Malignant transformation of phosphaturic mesenchymal tumor: a case report and literature review.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Pediatr Endocrinol	6. 最初と最後の頁 69-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1297/cpe.29.69	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zou Y, Turashvili G, Soslow RA, Park KJ, Croce S, McCluggage WG, Stewart CJR, Oda Y, Oliva E, Young RH, Da Cruz Paula A, Dessources K, Ashley CW, Hensley ML, Yip S, Weigelt B, Benayed R, Antonescu CR, Lee CH, Chiang S.	4. 巻 -
2. 論文標題 High-grade transformation of low-grade endometrial stromal sarcomas lacking YWHAE and BCOR genetic abnormalities.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mod Pathol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41379-020-0535-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Hidetaka, Nozaki Yui, Kohashi Kenichi, Kinoshita Izumi, Oda Yoshinao	4. 巻 -
2. 論文標題 Diagnostic utility of pan Trk immunohistochemistry for inflammatory myofibroblastic tumours	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Histopathology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.14010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Souzaki R, Kawakubo N, Matsuura T, Yoshimaru K, Koga Y, Takemoto J, Shibui Y, Kohashi K, Hayashida M, Oda Y, Ohga S, Taguchi T.	4. 巻 35
2. 論文標題 Navigation surgery using indocyanine green fluorescent imaging for hepatoblastoma patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pediatr Surg Int	6. 最初と最後の頁 551-557
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00383-019-04458-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimoto M, Yamada Y, Ishihara S, Kohashi K, Toda Y, Ito Y, Yamamoto H, Furue M, Nakashima Y, Oda Y.	4. 巻 44
2. 論文標題 Comparative Study of Myxofibrosarcoma With Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma: Histopathologic and Clinicopathologic Review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Am J Surg Pathol	6. 最初と最後の頁 87-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/PAS.0000000000001389.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda T, Koga Y, Yoshikawa H, Tanabe M, Yamana K, Oba Y, Nakashima K, Ono H, Ichimura T, Hasegawa S, Kato W, Kobayashi T, Nakayama H, Sakai Y, Yoshitake T, Ohga S, Oda Y, Suzuki S, Sonoda K, Ohga S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Survival and Ocular Preservation in a Long-Term Cohort of Japanese Patients With Retinoblastoma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Pediatr	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12887-020-1923-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yahiro K, Matsumoto Y, Yamada H, Endo M, Setsu N, Fujiwara T, Nakagawa M, Kimura M, Shimada E, Okada S, Oda Y, Nakashima Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Activation of TLR4 Signaling Inhibits Progression of Osteosarcoma by Stimulating CD8-positive Cytotoxic Lymphocytes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Immunother	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00262-020-02508-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wang H, Yoshizumi T, Itoh S, Ikegami T, Harada N, Oda Y, Mori M.	4. 巻 64
2. 論文標題 Retroperitoneal schwannoma preoperatively diagnosed as liver metastasis from colon cancer: A case report.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Surg Case Rep.	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijscr.2019.09.031.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masuda Y, Tsukamoto Y, Zenitani M, Oda Y, Kinoshita I, Kohashi K, Takemoto J, Hirota S, Shibata A, Koda T, Takeshima Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 A newborn case of jejunal ALK-negative inflammatory myofibroblastic tumor with ETV6-NTRK3 fusion.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pediatr Blood Cancer	6. 最初と最後の頁 27902
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.27902.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miki K, Yoshimoto K, Yamada Y, Kabashima A, Kuga D, Oda Y, Iihara K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Rapid growth of metastatic brain tumor from gastric undifferentiated pleomorphic sarcoma: A case report.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Surg Neurol Int.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.25259/SNI-84-2019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto M, Yoshida Y, Tuneyoshi M, Gion T, Tominaga Y, Koga Y, Oda Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 "Gastric Perivascular Epithelioid Cell Tumor: A Case Report"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ann Case Report	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.29011/2574-7754.100239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yorita K, Togashi Y, Nakagawa H, Miyazaki K, Sakata S, Baba S, Takeuchi K, Hayashi Y, Murakami I, Kuroda N, Oda Y, Kohashi K, Yamada Y, Kiyozawa D, Michal M, Michal M.	4. 巻 69
2. 論文標題 Vocal cord inflammatory myofibroblastic tumor with mucoid deposits harboring TIMP3-ALK fusion: A potential diagnostic pitfall.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pathol Int.	6. 最初と最後の頁 366-371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.12796.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yugawa K, Yoshizumi T, Mano Y, Kurihara T, Yoshiya S, Takeishi K, Itoh S, Harada N, Ikegami T, Soejima Y, Kohashi K, Oda Y, Mori M.	4. 巻 5
2. 論文標題 Solitary fibrous tumor in the liver: case report and literature review.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Surg Case Rep.	6. 最初と最後の頁 68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40792-019-0625-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toya M, Yamada Y, Yokoyama R, Taguchi K, Nabeshima K, Isayama T, Oda Y.	4. 巻 216
2. 論文標題 Dedifferentiated Low-Grade Central Osteosarcoma With Extensive Cystic Change Initially Treated as a Simple Bone Cyst.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathol Res Pract.	6. 最初と最後の頁 152832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.prp.2020.152832.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Yamada Y, Oda Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Calcifying Aponeurotic Fibroma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Pathology.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-28845-1_5358-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Yamada Y, Hisaoka M, Oda Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Intranodal Palisaded Myofibroblastoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Pathology.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-28845-1_5429-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Abe C, Mori T, Yamada Y, Oda Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Lymphangioma, Soft Tissue	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Pathology.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-28845-1_5487-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田義直	4. 巻 37
2. 論文標題 良性および中間悪性骨腫瘍の病理診断における分子医学的アプローチ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 病理と臨床.	6. 最初と最後の頁 902-904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清澤大裕、山田裕一、小田義直	4. 巻 37
2. 論文標題 胸膜の中皮腫以外の腫瘍性疾患	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 病理と臨床.	6. 最初と最後の頁 1089-1096
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohashi K, Kinoshita I, Oda Y.	4. 巻 14
2. 論文標題 Soft Tissue Special Issue: Skeletal Muscle Tumors: A Clinicopathological Review.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Head Neck Pathol.	6. 最初と最後の頁 12-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12105-019-01113-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田義直	4. 巻 38
2. 論文標題 希少がんの病理診断体制 骨軟部腫瘍における希少がん病理診断対策とコンサルテーションシステムの試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 病理と臨床.	6. 最初と最後の頁 53-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 毛利太郎、小田義直	4. 巻 38
2. 論文標題 WHO腫瘍組織分類：第5版改訂のポイント 特集 骨軟部腫瘍の病理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 病理と臨床.	6. 最初と最後の頁 206-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 孝橋賢一、小田義直	4. 巻 38
2. 論文標題 特殊な筋原性腫瘍の病理 特集 骨軟部腫瘍の病理I	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 病理と臨床.	6. 最初と最後の頁 226-231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸田雄、小田義直	4. 巻 39
2. 論文標題 類軟骨骨化を来す腫瘍と軟骨肉腫の亜型の鑑別 【画像診断】骨・軟部腫瘍の鑑別診断のポイント	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 画像診断増刊号	6. 最初と最後の頁 S22-S25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計64件 (うち招待講演 21件 / うち国際学会 12件)

1. 発表者名 瀧田洋、日野祐子、玉城昭彦、木下伊寿美、孝橋賢一、小田義直
2. 発表標題 腰椎に発生したAneurysmal bone cyst (動脈瘤様骨嚢胞) の1例
3. 学会等名 2022年度小児腫瘍症例検討会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 日野祐子、玉城昭彦、川久保尚徳、瀧田洋、小野宏彰、古賀友紀、孝橋賢一、大賀正一、小田義直、田尻達郎
2. 発表標題 腔原発悪性Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) の1例
3. 学会等名 第64回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名	遠藤誠、小田義直、田仲和宏、廣瀬隆則、長谷川匡、蛭田啓之、久岡正典、国定俊之、比留間徹、土屋弘行、片桐浩久、松本嘉寛、川井章、中山口バート、川島寛之、水澤純基、福田治彦、尾崎敏文、岩本幸英、野島孝之
2. 発表標題	高悪性度非円形細胞軟部肉腫における術前化学療法の組織学的効果判定法の標準化と予後的意義 - JCOG0304附随研究 -
3. 学会等名	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	戸田雄、孝橋賢一、山元英崇、石原新、伊東良広、薄陽祐、川口健悟、山田裕一、藤原稔史、薛宇孝、遠藤誠、松本嘉寛、中島康晴、馬渡正明、小田義直
2. 発表標題	骨巨細胞腫における免疫微小環境の検討 - デノスマブ前後で主にPD-L1 とSIRP の発現に着目して -
3. 学会等名	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	石原新、山元英崇、岩崎健、戸田雄、孝橋賢一、藤原稔史、薛宇孝、遠藤誠、松本嘉寛、中島康晴、小田義直
2. 発表標題	悪性骨巨細胞腫の組織と遺伝子変異の検討 - TP53遺伝子変異とH3K27me3 の消失に関して -
3. 学会等名	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	粘液型脂肪肉腫における予後予測ツールとしての新規核異形度分類の提案とその分子遺伝学的背景の検討
2. 発表標題	川口健悟、孝橋賢一、石原新、戸田雄、岩崎健、山本猛雄、遠藤誠、松本嘉寛、小田義直
3. 学会等名	第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名 岩崎健、松本崇雅、一木稔生、孝橋賢一、小田義直
2. 発表標題 エピトランスクリプトミクス異常からみた軟部平滑筋肉腫の病態解明
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 骨腫瘍病理診断における新疾患概念と分子遺伝学的知見
3. 学会等名 第33回骨軟部放射線研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 特別企画：第3期がん対策推進基本計画の成果と展望, 希少がん対策における中央病理診断ネットワーク構築ための課題と展望：肉腫を中心に
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本嘉寛、孝橋賢一、山元英崇、朝永匠、川口健悟、遠藤誠、藤原稔史、飯田圭一郎、中島康晴、小田義直
2. 発表標題 特別セッション：右膝軟部腫瘍の1例
3. 学会等名 第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 ワークショップ：骨軟部腫瘍の病理診断：コンサルテーションと中央診断, 欧州における骨軟部腫瘍の中央病理診断体制と本邦の現状との比較
3. 学会等名 第111回日本病理学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Oda Y.
2. 発表標題 Symposium: Soft tissue: NTRK rearranged spindle cell neoplasm and its related tumours. Immunohistochemistry or molecular tests for diagnosis and therapeutic implication in surgical pathology.
3. 学会等名 XXXIVth Congress of the International Academy of Pathology (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Mori T, Yamada Y, Kinoshita I, Kohashi K, Yamamoto H, Oda Y.
2. 発表標題 Clinicopathological Prognostic Factors of Dedifferentiated Liposarcoma: A Study of 127 Primary Resected Cases
3. 学会等名 The 110th United States and Canadian Academy of Pathology (USCAP) Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kinoshita I, Yamada Y, Kohashi K, Yamamoto H, Oda Y.
2. 発表標題 Fibrocartilagenous dysplasia
3. 学会等名 International Skeletal Society (ISS)Rad-Path-Surg Lecture Series (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hashisako M, Kohashi K, Yamada Y, Yamamoto H, Oda Y.
2. 発表標題 Low-grade central osteosarcoma with dedifferentiation
3. 学会等名 Members Meeting of the 48th International Skeletal Society(ISS)Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 骨軟部腫瘍病理診断における分子病理学的アプローチの有用性
3. 学会等名 第110回日本病理学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 孝橋賢一、山元英崇、山田裕一、木下伊寿美、小田義直
2. 発表標題 SWI/SNF 関連肉腫
3. 学会等名 第110回日本病理学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 孝橋賢一、山元英崇、山田裕一、木下伊寿美、小田義直
2. 発表標題 小児骨軟部腫瘍のトピックス
3. 学会等名 第110回日本病理学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 仲正喜、山元英崇、野上美和子、山口知彦、大久保文彦、小田義直
2. 発表標題 新 WHO 分類に対応できる骨軟部細胞診報告様式の提言 - 紡錘形細胞腫瘍を例に - 骨軟部腫瘍の最新 WHO 分類における疾患概念の変化と細胞診
3. 学会等名 第62回日本臨床細胞学会総会春期大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 2020年骨・軟部腫瘍WHO分類における新疾患概念
3. 学会等名 第54回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 孝橋賢一、木下伊寿美、岩崎健、山元英崇、小田義直
2. 発表標題 NTRK融合遺伝子陽性腫瘍の病理診断
3. 学会等名 第63回日本小児血液・がん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊東良広、孝橋賢一、山田裕一、薄陽祐、川口健悟、木下伊寿美、遠藤誠、山元英崇、中島康晴、小田義直
2. 発表標題 MPNSTにおけるH3K27me3およびH3K27me2発現：臨床病理学的特徴と免疫染色との関連性
3. 学会等名 第110回日本病理学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 毛利太郎、山田裕一、木下伊寿美、孝橋賢一、山元英崇、小田義直
2. 発表標題 脱分化型脂肪肉腫の予後因子：原発症例127例の検討
3. 学会等名 第110回日本病理学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 一木稔生、山田裕一、古江増隆、小田義直
2. 発表標題 血管肉腫の形態学および遺伝学的解析
3. 学会等名 第54回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 薄陽祐、山田裕一、中島康晴、小田義直
2. 発表標題 軟骨肉腫の臨床病理学的検討
3. 学会等名 第54回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 玉城昭彦、川久保尚徳、日野祐子、武本淳吉、孝橋賢一、松浦俊治、小田義直
2. 発表標題 診断に難渋した神経線維腫1型に発生した後腹膜悪性Triton腫瘍の一例
3. 学会等名 第63回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山元英崇
2. 発表標題 軟部腫瘍病理診断における新展開
3. 学会等名 国際病理アカデミー（IAP）日本支部 病理学教育セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 教育研修講演：骨・軟部腫瘍病理診断のポイント
3. 学会等名 第53回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会オンライン（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 要望講演：骨軟部腫瘍の最新WHO分類について
3. 学会等名 第59回日本臨床細胞学会秋期大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 孝橋賢一、山元英崇、山田裕一、木下伊寿美、大久保文彦、小田義直
2. 発表標題 シンポジウム：骨軟部腫瘍の遺伝子異常と細胞診
3. 学会等名 第59回日本臨床細胞学会秋期大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 講演：骨腫瘍病理診断の基本 希少がん診断のための病理医育成事業
3. 学会等名 第2回希少がん病理診断講習会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 シンポジウム：希少がんの病理診断支援 - 骨軟部腫瘍をモデルに
3. 学会等名 第62回日本小児血液・がん学会学術集会オンライン（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩崎健、山田裕一、石原新、戸田雄、孝橋賢一、小田義直
2. 発表標題 軟部平滑筋肉腫におけるPD-L1、ID01発現とJak-Stat経路の活性化に関する検討
3. 学会等名 第109回日本病理学会総会オンライン総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保山雄介、孝橋賢一、山田裕一、朝永匠、平木由佳、大屋正文、大石善丈、小田義直
2. 発表標題 SS18-SSX1の融合遺伝子変異とSMARCB1/INI1の減弱から診断し得た 胃原発の滑膜肉腫の1例
3. 学会等名 第109回日本病理学会総会オンライン総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渋井勇一、孝橋賢一、木下伊寿美、山田裕一、山元英崇、小田義直
2. 発表標題 悪性ラブドイド腫瘍におけるFOXM1の発現と臨床応用について
3. 学会等名 第109回日本病理学会総会オンライン総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大城由美、水野洋輔、藤下卓才、橋迫美貴子、山田裕一、小田義直
2. 発表標題 EWSR1-fusion-negative SMARCB1-deficient primary pulmonary myxoid sarcomaの1例
3. 学会等名 第109回日本病理学会総会オンライン総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石原新、山田裕一、戸田雄、孝橋賢一、山元英崇、小田義直
2. 発表標題 未分化多型肉腫におけるPD-L1 とID0-1 の発現の検討
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 戸田雄、孝橋賢一、山田裕一、石原新、伊東良広、山元英崇、小田義直
2. 発表標題 骨肉腫患者におけるPD-L1 およびID01 の発現、腫瘍浸潤リンパ球の検討
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 教育研修講演：骨・軟部腫瘍病理診断のポイント
3. 学会等名 第53回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会(オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shibui Y, Kohashi K, Souzaki R, Oda Y, Taguchi T.
2. 発表標題 Prognostic significance of forkhead box M1(FOXM1) expression and antitumor effect of FOXM1 inhibition in malignant rhabdoid tumor
3. 学会等名 52th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP2020) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井藤 遥, 岩井 信策, 猿田 祐輔, 今泉 牧子, 末木 博彦, 泉 美貴, 小林 英介, 小田 義直
2. 発表標題 Epithelioid sarcomaとの鑑別を要した軟部腫瘍の1例
3. 学会等名 日本皮膚科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木下 伊寿美, 孝橋 賢一, 山田 裕一, 山元 英崇, 小田 義直
2. 発表標題 Hormone receptor-associated low-grade myoepithelial tumor: SMARCB1/INI1欠失軟部腫瘍の14症例
3. 学会等名 日本癌学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大場 詩子, 古賀 友紀, 賀来 典之, 小野 宏彰, 宗崎 良太, 孝橋 賢一, 小田 義直, 田口 智章, 大賀 正一
2. 発表標題 縦隔原発悪性ラブドイド腫瘍による気道閉塞にステント留置が奏効した小児例
3. 学会等名 日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松下 能文, 岩崎 健, 山田 裕一, 小田 義直, 桃崎 征也, 久保 和彦, 中島 寅彦
2. 発表標題 耳下腺Solitary fibrous tumorの1例
3. 学会等名 日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山元英崇, 野崎優衣, 孝橋賢一, 田口健一, 小田義直
2. 発表標題 炎症性筋線維芽細胞腫瘍における pan-TRK 免疫組織化学染色の診断的有用性
3. 学会等名 日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉本昌人, 山田裕一, 石原新, 孝橋賢一, 戸田雄, 伊東良広, 山元英崇, 古江増隆, 中島康晴, 小田義直
2. 発表標題 粘液線維肉腫の臨床病理学的検討：未分化多形肉腫様変化
3. 学会等名 日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下享子、孝橋賢一、山田裕一、赤塚慎也、小田義直
2. 発表標題 脱分化型脂肪肉腫において MDM2/HMGA2 の増幅比率は予後と相關する
3. 学会等名 日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石原新、山田裕一、岩崎健、伊東良広、戸田雄、吉本昌人、孝橋賢一、山元英崇、藤原稔史、中島康晴、薛宇孝、遠藤誠、松本嘉寛、中島康晴、小田義直
2. 発表標題 未分化多形肉腫におけるPD-L1とIDO-1の発現の検討
3. 学会等名 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸田雄、孝橋賢一、山田裕一、吉本昌人、石原新、伊東良広、岩崎健、山元英崇、藤原稔史、薛宇孝、遠藤誠、松本嘉寛、中島康晴、馬渡正明、小田義直
2. 発表標題 骨肉腫におけるPDL1とIDO1の発現
3. 学会等名 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 孝橋賢一、山元英崇、山田裕一、木下伊寿美、小田義直
2. 発表標題 後腹膜脂肪肉腫の組織診断とその鑑別
3. 学会等名 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村敦、松本嘉寛、山元英崇、藤原稔史、石原新、福島俊、遠藤誠、薛宇孝、八尋健一郎、島田英二郎、松延知哉、小田義直、中島康晴
2. 発表標題 骨巨細胞腫の骨分化におけるWnt/ -catenin経路の役割についての検討
3. 学会等名 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宗崎良太、松浦俊治、武本淳吉、古賀友紀、孝橋賢一、小田義直、大賀正一、田口智章
2. 発表標題 肝芽腫に対するICGナビゲーション手術
3. 学会等名 日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本翔大、桑田理左、小嶋健太、野中修一、北里謙二、奥村幸彦、上里梓、瀧澤克実、田口健一、横山良平、小田義直
2. 発表標題 粘膜型脂肪肉腫9例の細胞学的検討
3. 学会等名 日本臨床細胞学会九州連合会学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kohashi K, Yamamoto H, Yamada Y, Oda Y
2. 発表標題 Case11: Parosteal osteosarcoma of the lt. femur.
3. 学会等名 The International Skeletal Society 2019 Meeting(Members' Meeting) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamada Y, Yamamoto H, Kohashi K, Oda Y
2. 発表標題 EPPT26:Giant cell tumor of bone with prominent cartilaginous differentiation.
3. 学会等名 The International Skeletal Society 2019 Meeting(Members' Meeting) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto H, Ishihara S, Kohashi K, Setsu N,Matsumoto Y,Oda Y.
2. 発表標題 EPPT6:Secondary malignat giant cell tumor of bone.
3. 学会等名 The International Skeletal Society 2019 Meeting(Members' Meeting) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 良性および中間悪性骨腫瘍の病理診断における分子遺伝学的アプローチ
3. 学会等名 日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山元英崇、仲正喜、野上美和子、大久保文彦、小田義直
2. 発表標題 軟部肉腫と希少がんの細胞診 軟部肉腫をモデルとして希少がんの細胞診の在り方を考える 骨軟部肉腫と希少がんの細胞診：病理医の立場から
3. 学会等名 日本臨床細胞学会春期大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田朗彦、小田義直
2. 発表標題 肉腫の病理診断とその問題について 希少がんMeet the Expert がん診療の取り組み
3. 学会等名 希少がんMeet the Expert (国立がん研究センター中央病院希少がんセンター) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 アジアでの希少がん 現状及び診療のネットワーク構築について 軟部腫瘍病理診断の現状と今後の課題
3. 学会等名 日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oda Y
2. 発表標題 New entities of soft tissue tumors, which would be appear upcoming WHO classification Session 3: Thorax, Soft Tissue & Bone Pathology
3. 学会等名 The 11th Asia Pacific IAP Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oda Y
2. 発表標題 Japan-IAP Special: 1st Session : Challenging Cases in Surgical Pathology Bone Tumor Pathology
3. 学会等名 The 11th Asia Pacific IAP Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto H, Nozaki Y, Oda Y.
2. 発表標題 Pan-Trk Immunoreactivity, ETV6-NTRK3 Fusion Variants and RET Rearrangement in Salivary Secretory Carcinoma.
3. 学会等名 The 109th Annual Meeting, United States and Canadian Academy of Pathology (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 oda Y
2. 発表標題 Genomic Pathology and Updated Diagnosis of Soft Tissue Tumors
3. 学会等名 AMP 2019 Global Congress on Molecular Pathology in Hong Kong (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 小田義直(分担執筆)、日本整形外科学会、日本整形外科学会診療ガイドライン委員会、原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン策定委員会	4. 発行年 2022年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 112
3. 書名 原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン2022	

1. 著者名 恒吉 正澄、小田 義直、相島 慎一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 374
3. 書名 わかりやすい病理学(改訂第7版)	

1. 著者名 小田義直、吉田朗彦	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 272
3. 書名 腫瘍病理鑑別診断アトラス 骨腫瘍	

1. 著者名 長谷川匡、小田義直	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 336
3. 書名 腫瘍病理鑑別診断アトラス 悪性軟部腫瘍	

1. 著者名 青笹 克之、加藤 光保、金井 弥栄、菅野 祐幸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 884
3. 書名 解明病理学第4版 病気のメカニズムを解く	

1. 著者名 深山正久、森永正二郎、編主幹 / 小田義直、坂元亨宇、松野吉宏、森谷卓也、編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 1892
3. 書名 外科病理学 第5版	

1. 著者名 Antonescu CR, Blay J-Y, Bovee JVMG, Bridge JA, Cunha IW, Dei Tos AP, Flanagan AM, Fletcher CDM, Folpe AL, Hornick JL, Mertens F, Miettinen M, Nielsen GP, Oda Y, Yoshida A. Expert members, Editorial Board (Eds.)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 WORLD HEALTH ORGANIZATION	5. 総ページ数 607
3. 書名 WHO Classification of Tumours, 5th Edition, Soft Tissue and Bone Tumours	

1. 著者名 赤木 忠厚 (監修), 松原 修 (監修), 真鍋 俊明 (監修), 吉野 正 (編集), 小田 義直 (編集), 坂元 亨宇 (編集), 森井 英一 (編集)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 768
3. 書名 カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断 第7版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	孝橋 賢一 (Kohashi Kenichi)  (10529879)	九州大学・医学研究院・准教授  (17102)	
研究分担者	山元 英崇 (Yamamoto Hidetaka)  (30404073)	岡山大学・医歯薬学域・教授  (15301)	九州大学病院を令和4年11月30日付退職。令和4年12月1日付で国立大学法人岡山大学学術研究院医歯薬学域・教授に就任。
研究分担者	岩崎 健 (Iwasaki Takeshi)  (40766185)	九州大学・九州大学病院・准教授  (17102)	令和4年12月1日付で九州大学病院病理診断科病理部・准教授に就任。

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	山田 裕一  (Yamada Yuichi)  (00597643)	九州大学・医学研究院・講師    (17102)	削除：2022年3月15日

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関